

Ⅱ 販わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信

(25) 食の振興

これまでは

「奈良にうまいものあり」の評判を定着させる努力をしてきました。徐々に奈良にうまいものありの評判をとるようになってきました。

○県内レストラン等との連携による情報発信

- ・眺望のいいレストランや奈良のうまいもの会等との連携により、食の魅力を発信
- ※ ミシュランガイドブック奈良2017特別版掲載店舗数
三つ星★★★：1軒(1) ビブグルマン：26軒(15)
二つ星★★：4軒(3) 星なし(調査員オススメ)：97軒(9)
一つ星★：17軒(12) *()内は前年の数

○NAFICの開校

- ・フードクリエイティブ学科開校以来、33名が卒業
- ＜主な就職先＞
カンテサンス、ロオジェ等、有名レストラン・ホテル
県内でカフェやオーベルジュ等開業

○奈良県農畜水産物ブランド認証制度「奈良県プレミアムセレクト」に(梨：二十世紀)を追加しました。(令和2年6月)



○食と農の振興を行う県庁組織を設置しました。(「豊かな食と農の振興課」)(令和2年4月)

もっと良くするために

食の振興をさらに高度化していきます。

- NAFICとBCC*(バスカカリナリーセンター)との連携推進で食文化の振興を行います。(7百万円)
*BCC・・・スペインバスカ地方にある世界6の4年制の料理専門学校
- UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラムの奈良誘致を行います。(55百万円)
- 柿やイチゴのブランド化など、農産物の高付加価値化を図ります。(2百万円)

県内各地の食の振興を図ります。

- 奈良県コンベンションセンターでの食イベントや、奈良フードフェスティバルを開催します。(12百万円)
- 県内オーベルジュ施設のネットワーク化の推進により、滞在型周遊観光の展開を図ります。(4百万円)
- (新)食と農に関する体験プログラムを開発し、地域の賑わいを創出します。(2百万円)

奈良県産農産加工商品を開発し、販売を促進します。

- 奈良まほろば館で新商品のプロモーション活動を充実させます。
- 奈良初のフィナーレ設置を支援します。

令和3年度予算案 82百万円

R3予算案 82,470千円

<奈良の食のブランド力の強化>

①奈良県農畜水産物ブランド認証の推進 (1,825千円)

- 奈良県プレミアムセレクト(イチゴ、柿、梨)を、東京の老舗果物専門店等でPR
- 県アンテナショップでプレミアム古都華を使ったスイーツを販売、SNSを活用した情報発信



奈良県プレミアムセレクト
シンボルマーク

<奈良の食を楽しむ機会の拡大>

②奈良のおいしい食の魅力創造・発信(10,760千円)

- 県コンベンションセンターで食に関するフォーラムやイベントを開催
- 県内のオーベルジュでファミトリップ等のプロモーションを実施、ポータルサイトの制作、ジャーナルの発行

③奈良フードフェスティバルの開催(5,500千円)

- 県産食材の活用や食のネットワークの拡充を推進するため、奈良フードフェスティバルの開催を支援



奈良フードフェスティバル

④(新)食と農の賑わい創出(2,000千円)

- 山の辺の道周辺地域等で食と農の体験プログラムの開発及び実践

⑤NAFICとBCCとの連携を推進(7,200千円)

- 世界的に著名なスペインの料理専門学校BCC(バスカカリナリーセンター)との連携協定締結
- BCCから講師を招へいし、交流事業を実施



NAFICでの調理実習風景

⑥ガストロノミーツーリズムの推進(55,185千円)

- UNWTOとの連携による国際シンポジウムの開催等ガストロノミーツーリズム推進の機運醸成に向けた取組
- UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム誘致に向けた取組



奈良県ガストロノミーツーリズム
国際シンポジウム2020

<問い合わせ先>

食と農の振興部

- ①農業水産振興課 國本課長補佐 (内線3841)
- ②③④豊かな食と農の振興課 森本主幹 (内線3811)
- ⑤豊かな食と農の振興課 我妻課長補佐 (内線3818)
- ⑥MICE推進室 田中課長補佐 (内線2153)

観光局

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信 (26) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開

これまでは

対外的発信力が不足していたとの認識のもと、奈良の情報発信に努力を続けています。

【海外プロモーション】

- フランス パリのギメ東洋美術館での奈良の仏像展示・ジャポニスム2018の積極参加(平成30年度)
- イギリス 大英博物館での仏像展示・観光プロモーションの実施(令和元年度)

【東京プロモーション】

- 鉄道事業者と連携した奈良県観光キャンペーン事業を展開(平成26年度～)
- 東京国立博物館で島根県との連携による特別展「出雲と大和」を開催(令和2年1月～2月)



出雲と大和展
(奈良まほろば館でのPR)

新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏や海外からの観光客は減少しているものの、状況改善後の観光需要喚起を図るため、本県の魅力を継続して発信しています。



首都圏鉄道駅における観光キャンペーン(薬師寺)



旅行誌等を活用した情報発信

もっと良くするために

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、県内や周辺エリアから段階的に観光誘客を展開しています。また、海外に対しては奈良の魅力を継続的に発信します。

- 鉄道事業者等と連携し、奈良の歴史イベント(聖徳太子没後1400年等)を核とした誘客プロモーションの実施

- 歴史文化や自然体験等の多様な奈良の観光素材と奈良のおいしい食の魅力をつけた奈良らしいガストロノミーツーリズムを推進

- 「奈良まほろば館」新拠点を活用し、国内外に強い発信力のある首都圏においてプロモーションを展開

- 外国人旅行者の「旅行情報源」である現地メディア・エージェント等へのセールス活動、SNSによる「知られざる奈良の魅力」発信



奈良の酒の魅力発信
(酒蔵体験)

令和3年度予算案 356百万円

R3予算案 355,593千円

①観光誘客の強化、周遊・滞在型観光の推進 (22,015千円)

欧米豪や近年増加傾向にある中華圏の個人旅行(FIT)を取り込むため、**ウィズコロナ・ポストコロナ時代に対応した誘客プロモーションを実施**

- ① 中華圏向けコーディネーターの設置
- ② 情報発信
 - ・海外旅行会社やメディアへのセールス、情報発信
 - ・デジタルを活用した情報発信
- ③ 訪日教育旅行誘致コーディネーターとの連携
- ④ 現地認知度向上に資する取組
 - ・コンテンツ掘り起こし
 - ・現地視察
 - ・ファムトリップ
 - ・広告出稿 等
- ⑤ 知事によるトップセールス



フランスの旅行誌への記事掲載(仏語)

②「新」奈良まほろば館」及び新拠点での奈良の魅力発信 (71,393千円)

- ・東京の「奈良まほろば館」及び新拠点において、ショップでの「奈良もの」の販売や、レストランでの「おいしい奈良の食」の提供の充実による**奈良県の魅力発信と誘客促進の強化**
- ・新拠点に**大型ビジョン**を設置し、**奈良の奥深い魅力を迫力ある映像により発信**

<問い合わせ先>

- ①②③④観光局 観光プロモーション課 辻課長補佐(内線2581) ④MICE推進室 田中室長補佐(内線2153)
- ③知事公室 奥大和・移住交流推進室 丸岡室長補佐(0744-48-3016)

③奈良の魅力発信のより一層の強化 (207,000千円)

聖徳太子没後1400年等の歴史的催事やガストロノミーツーリズムを核として、**JR東海や西日本、民間交通事業者との連携**により、東海道山陽新幹線沿線等を中心に誘客促進のための**積極的な広報・宣伝等**を展開

- ・JR等との連携による鉄道駅等を活用した広域広報・宣伝
- ・JR東海「うまいうわし奈良」キャンペーンやおおさか東線を活用したJR西日本のキャンペーンとの連携
- ・近鉄、JR西日本と連携した奥大和地域の魅力を発信する宿泊旅行商品の造成・PR
- ・首都圏、九州圏、中国圏での旅行会社等との商談会
- ・聖徳太子没後1400年のプロモーション
- ・ガストロノミーツーリズムに関するプロモーション
- ・ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた奈良への誘客プロモーション



④ガストロノミーツーリズムの推進 (55,185千円)

- ・UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム誘致に向けた実施計画案策定等
- ・UNWTOとの連携による国際シンポジウムの開催等

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信 (27) 「奈良まほろば館」新拠点への移転

これまでは

東京において「奈良まほろば館」と「ときのもり」の2つの拠点で、奈良の魅力を発信してきました。

- 【「奈良まほろば館」】
 ○ 東京日本橋三越前に開設(平成21年度)
 ○ 奈良県発信拠点として、奈良の奥深い魅力を発信

- 【「ときのもり」】
 ○ 東京白金台に開設(平成27年度)
 ○ ミュランガイド東京において1つ星を獲得し、奈良の「食」の魅力を発信



- 各施設では、オープン以来、首都圏の数多くの方々に奈良の魅力を発信しました。
 ・ 奈良まほろば館(平成21年4月～R2年8月)
 2,633,365人の来場者 ※入館者、イベント参加者の合計
 ・ ときのもり(平成28年1月～令和2年3月)
 56,380人の来店者 ※物販・レストラン等の利用者の合計

もっと良くするために

「奈良まほろば館」、「ときのもり」の機能を統合し、奈良県の魅力発信拠点としての機能をより一層強化するため、「奈良まほろば館」新拠点を整備します。(令和3年7月開業予定)

- 東京都港区新橋一丁目に、「奈良まほろば館」新拠点を整備し、ショップでの「奈良もの」の販売、レストランでの「奈良のうまいもの」の提供を充実させ、奈良県の魅力発信と誘客促進を一層強化し、奈良県のブランド力の向上を目指します。

- 大型ビジョンを設置し、奈良の魅力を発信します。



【「奈良まほろば館」新拠点の概要】

【イメージパース】

項目	内容
機能	1階 物販・観光案内 県産農産物、地場産品、伝統工芸、奈良の木製品などのPR・販売、チャレンジ販売の実施等
	レストラン 奈良県産食材を活用したレストラン営業
	2階 多目的室 歴史文化講座、商談会、プレス発表等

令和3年度予算案 850百万円

R3予算案 849,967千円

東京における奈良県の魅力発信と誘客促進をより一層強化するため、「奈良まほろば館」と「ときのもり」を東京都港区新橋一丁目に統合・移転し、観光情報の提供、県産農産物の販売、レストラン機能等を有する新拠点を整備 【令和3年7月オープン(予定)】

【新】①新拠点での事業展開 (13,399千円)

- ・ 上質で洗練された雰囲気の中、奈良の歴史伝統を感じられる物産、農産物、県産材のPRと県産食材を活用した食事の提供を一体的に展開
- ・ 首都圏マーケットや顧客ニーズの収集により県内の埋もれた商品を発掘し、売れる商品づくりを支援
- ・ 奈良の魅力を伝える多様なイベントの展開

<R3実施イベント>

- 「食・物産」
 - ・ 奈良県プレミアムセレクトの展示・販売会
 - ・ 大和当帰入りドリンクなど漢方製剤の販売促進
 - ・ 県産材の雑貨・家具のPRイベント など
- 「産業」
 - ・ リアルとオンラインを融合した新型展示会の開催
 - ・ 伝統工芸の展示会の開催 など
- 「魅力発信・誘客促進」
 - ・ 奈良の強みである歴史文化資源を活用したイベント
 - ・ 聖徳太子没後1400年やなら歴史芸術文化村のPR など

<問い合わせ先>

- ①②観光局 観光プロモーション課 辻課長補佐(内線2581)
 ① 文化・教育・くらし創造部 なら歴史芸術文化村整備推進室 中西室長補佐(内線2510)、文化資源活用課 石田課長補佐(内線2530)
 医療政策局 薬務課 芳賀課長補佐(内線3171)、水循環・森林・景観環境部 奈良の木ブランド課 川畑課長補佐(内線3961)
 産業・観光・雇用振興部 産業振興総合センター 辻課長、稲葉課長(0742-33-0817)
 食と農の振興部 豊かな食と農の振興課 我妻課長補佐(内線3818)、農業水産振興課 國本課長補佐(内線3841)

【新】②奈良まほろば館の整備と運営

- 新拠点オープンに向けた準備 (585,324千円)
 - ・ 内外装工事・備品購入
 - ・ オープニングイベント、事前PR広報、内覧会
- 新拠点の運営管理・情報発信 (207,076千円)
 - ・ 県、運営事業者、外部アドバイザー等による運営者協議会の設置
 - ・ 新たな客層の誘客を図るため、イベントやセミナーの開催
 - ・ 大型ビジョンを設置し、奈良の奥深い魅力を迫力ある映像等により発信
- 現奈良まほろば館(日本橋室町)の運営管理等 (44,168千円)
 - ・ 奈良の観光情報発信及び企画展示等のイベントを実施



新拠点イメージパース

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信 (28) 奈良県観光総合戦略の策定と実行

これまででは

リニア中央新幹線の奈良市附近駅設置を見据え、新たな長期的観光戦略が必要となってきました。

<戦略の視点>

- 上質な観光地にはあらゆる観光魅力が整っていることが必要であり、不足する要素があれば、それらを改善していく必要があります。
- 持続力のある観光地には、リピーターが不可欠ですが、それを一層大切にしていける必要があります。
- 主流である社寺の参拝のほか、新たな観光魅力を創出し、積極的に観光客を増やす努力が必要です。

もっと良くするために

奈良県観光総合戦略を策定し実行します。

<観光地づくりに必要な要素>

宿泊施設の質と量 (Accommodation)	滞在環境の快適性 (Amenity)
食の魅力 (Appetite)	便利な交通・道路体系 (Access)
自然・歴史・文化資源の活用 (Attraction)	楽しむ (Amusement)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、ウィズコロナ時代の新しい視点を計画に盛り込みます。

<ウィズコロナ時代を踏まえた施策例>

- ・新しい生活様式に適合した観光地における安心・安全の確立
- ・観光客サイドにおける十分な感染対策の徹底
- ・県民が県内観光を楽しむ旅の推進

令和3年度予算案 13百万円

R3予算案 13,298千円

奈良県観光総合戦略（～2025年度）の実現推進

施策の柱	(1) 観光振興の土台づくり	(2) 総合力のある観光地づくり						(3) プロモーションの強化
		(2)-1 宿泊施設の質と量 (Accommodation)	(2)-2 滞在環境の快適性 (Amenity)	(2)-3 便利な交通・道路体系 (Access)	(2)-4 食の魅力 (Appetite)	(2)-5 自然・歴史・文化資源の活用 (Attraction)	(2)-6 楽しむ (Amusement)	
施策体系	<ul style="list-style-type: none"> ○観光振興推進体制の強化 ○観光に関するデータの質と量の充実と利活用の推進 ○安心・安全な観光地づくりに向けた取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○宿泊施設の質と量の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合観光地として必要な受入環境整備の推進 ○魅力的な観光地としての景観・環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通等による移動円滑化、快適性向上や利用環境の整備の推進 ○観光振興に資する道路整備の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○食の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然・歴史・文化資源を活用した観光振興 ○奈良公園・平城宮跡周辺のさらなる魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内イベントの充実 ○体験メニューの充実 ○伝統工芸品等買い物の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○県民向けのプロモーションの強化 ○国内への効果的なプロモーションの強化 ○海外への効果的なプロモーションの強化 ○MICEの誘致競争力の強化 ○観光庁等政府系関係機関、国際機関との連携の強化

取組① 総合戦略の実行に向けた取組の推進 (1,948千円)

- 市町村、事業者等との対話による総合戦略の実現推進
 - ・策定した**県総合戦略の説明会・意見交換会**
 - ・意欲ある市町村や観光関連事業者等との**地域別対話型勉強会の開催**
 - ・地域の課題に応じた取組への**専門家派遣**

- 総合戦略のフォローアップ
 - 有識者からの**意見聴取**や、**PDCAサイクルの徹底**による総合戦略の**進捗管理と施策への反映**



地域別対話型勉強会(イメージ)

取組② UNWTOと連携した持続可能な観光地づくりの推進 (10,000千円)

- UNWTO駐日事務所の知見を活用し、持続可能な観光地づくりの手法等について、調査研究を実施**
- ・持続可能な観光地づくりに向けたあり方の作成
- ・県内複数地域におけるフィールド調査やワークショップの開催

取組③ 観光人材育成・確保 (1,350千円)

- 観光関連団体と連携し、**新たな観光需要に対応できる人材の育成・確保**を目的としたセミナーを開催

<問い合わせ先>

- 観光局 ①② インバウンド戦略・宿泊力向上室 西村室長補佐(内線2588)
③ ならの観光力向上課 浅葉課長補佐(内線2608)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる

～県民が安心して快適に暮らし続けられる奈良をつくる～